南保育園　めだかの学校の広がり

ねらい

・子ども達がドキドキ、ワクワクする遊びを通して豊かな感性や思いやる心をはぐくむ。
・四季を通じて子どもたちの多岐に渡る興味や関心に応え創造的な遊びを促す。
・子どもも地域も元気になれる“憩いの場”としての南保育園をめざして！



南保育園のめだかの学校

“めだかの学校”と“ちょうちょ畑”と命名
めだかの学校（メダカの池近く）
ちょうちょ畑（散歩の時に見つけた草花や地域の方や各家庭から持ち寄った花を植えた）

虫や草などの名前や、餌は何か？育て方は？雄なのか雌なのかなど調べることが好きな子どもたちである。
園庭内でもっと身近に生き物に触れたり飼ったりできるようにしたい。

地元には在来種のたんぽぽや黒メダカがいる。
園庭内にみんなでメダカの住める池や地元の草花を育てられる場所を作ろう。

自分たちの力で、畑を掘ってメダカが住む池や地元の草花を育てる場所を作った。



・地域の方がメダカを分けてくれることになり、みんなで頂きに行った。
・ドジョウのいる場所を教えてもらって捕まえに行った。
・カナヘビを捕まえ飼い始めた。
・家で飼っていたかえる卵を産んだと保育園に持ってきてみんなで飼い始めた。
・保育参加の時に、お父さんやお母さん達と一緒に地域の方が下さるという花を頂きに行った。
・家にある草花を持ち寄った。





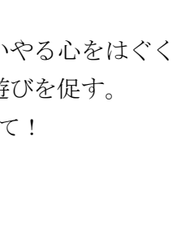






・嬉しくてお母さん達にメダカの池を見せる。
・お家の方々も関心を持ってくれた。

“めだかの学校”と“ちょうちょ畑”の看板を地域の方に手伝ってもらって作った





上履きでも見に行けるようにすのこを作る。



未満児の大好きな場所になった。



ちょうちょ畑

・頂いたり集めてきた草花を自分達で植え、育て、自由に花や草を摘んで遊べるような場所にした。
・参観日にあさがおで草木染めや花の冠を作った。





カナヘビ

・飼い方を調べ 、餌にする小さな虫を毎日捕まえた。
・たまごが生まれ、大切に育て生まれる瞬間をみんなで見た。
・しっぽが切れてしまった。なぜなのか？みんなで話し合った。
・冬眠ができるように、落ち葉やこけを入れ準備をした。春になるまで大切に見守っている。







稲作

・自分達で育てた餅米で餅をつきたい。ご飯も炊きたい。



田んぼの土を頂いたり、お田植え・草取り・水の管理・稲刈りなどを地域の方に教えて頂きながら行う。





土曜参観でお父さんやお母さんと脱穀・臼挽きもみすりなどを行う。

祖父母参観でおじいちゃん、おばあちゃんとワラを使ってミニ松飾りを作る。





稲刈りの後の田んぼにれんげの種を蒔きました。春が楽しみです。

お世話になった方々に来ていただいて、こどもと一緒に遊んだり、保育園で収穫した、米や大根を使って収穫祭を行った。



地域の方々とのふれあいを多くし、南保育園に来て頂き、地域の憩いの場になったらいいなと思っています。

